

白老町都市計画マスタープラン改定に係る  
「町民アンケート調査」  
結果報告書

令和3年7月9日

白老町 政策推進課

## 目 次

I 調査概要	1
II 調査結果	
問 1 あなた自身のことについて	2
問 2 日常の交通手段について	5
問 3 暮らしの現状と居住意向について	10
問 4 白老町のまちづくりについて	12
問 5 今後のまちづくりの方向性について	15
問 6 人口減少・少子高齢化に対応した持続可能なまちづくりについて	16
問 7 自由記載	18

## I 調査概要

---

### ■ 調査目的

都市計画マスタープランの改定にあたり、「暮らしの現状に対する満足度や重要度」、「将来のまちづくりに対する考え方」など、町民意向の把握を行い、計画策定の基礎資料として活用することを目的とする。

### ■ 調査期間

令和3年5月26日（水）～令和3年6月22日（火）

### ■ 調査方法

往復とも郵送による ※まちづくり町民意識調査とあわせて実施

### ■ 調査対象

町内在住の満18歳以上の者 2,000人

### ■ 抽出方法

各地区の人口比率により対象者数を按分し、住民基本台帳から無作為抽出

### ■ 回答状況

回答者数：736人 回答率：36.8%

### ■ 調査結果の見方

- ・基数となる実数はNとして掲載し、各グラフの比率はNを母数とした割合を示している。
- ・百分率はNを100%として算出し、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点第1位まで表示している。
- ・設問中の理由等の回答は、主なものを掲載している。

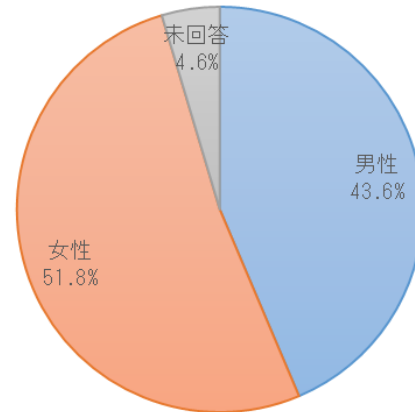
## Ⅱ 調査結果

### 問1 あなた自身のことについて

1 あなた自身のことについてお答えください。それぞれ1つに○。(N=736)

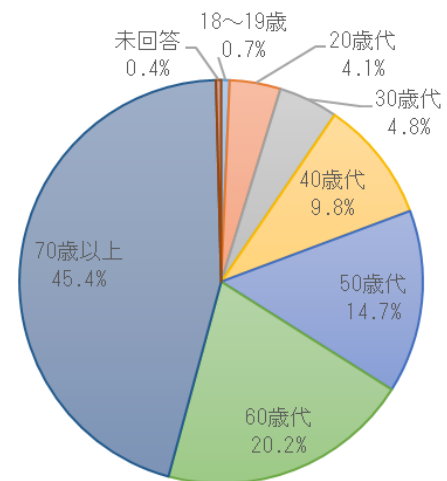
#### (1) 性別

NO	回答項目	回答数	構成比
1	男性	321	43.6%
2	女性	381	51.8%
3	未回答	34	4.6%
計		736	100.0%



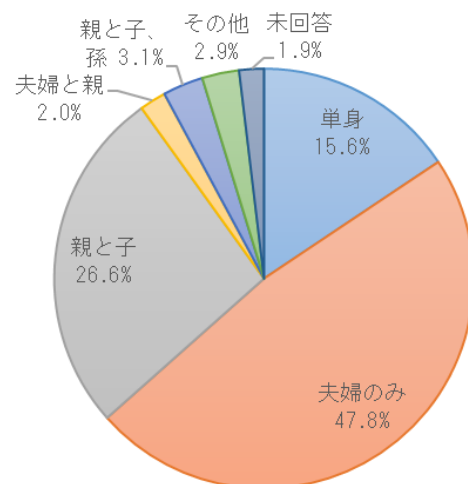
#### (2) 年齢

NO	回答項目	回答数	構成比
1	18～19歳	5	0.7%
2	20歳代	30	4.1%
3	30歳代	35	4.8%
4	40歳代	72	9.8%
5	50歳代	108	14.7%
6	60歳代	149	20.2%
7	70歳以上	334	45.4%
8	未回答	3	0.4%
計		736	100.0%



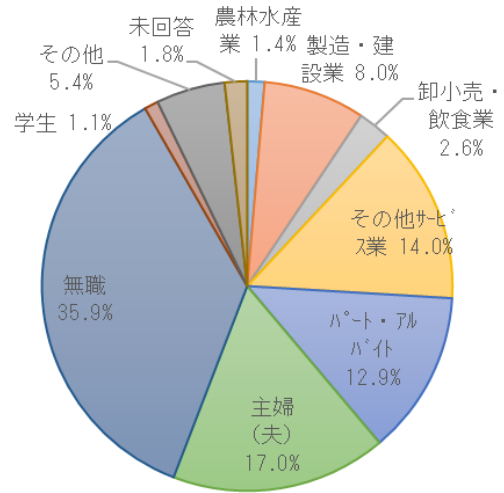
#### (3) 家族構成

NO	回答項目	回答数	構成比
1	単身	115	15.6%
2	夫婦のみ	352	47.8%
3	親と子	196	26.6%
4	夫婦と親	15	2.0%
5	親と子、孫	23	3.1%
6	その他	21	2.9%
7	未回答	14	1.9%
計		736	100.0%



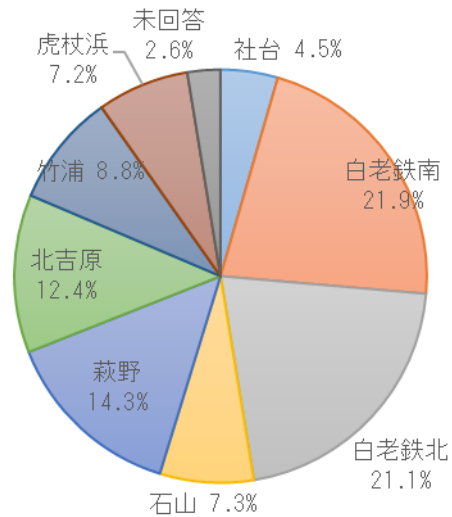
(4) 職業 ※主たるもの

NO	回答項目	回答数	構成比
1	農林水産業	10	1.4%
2	製造・建設業	59	8.0%
3	卸小売・飲食業	19	2.6%
4	その他サービス業	103	14.0%
5	パート・アルバイト	95	12.9%
6	主婦(夫)	125	17.0%
7	無職	264	35.9%
8	学生	8	1.1%
9	その他	40	5.4%
10	未回答	13	1.8%
	計	736	100.0%



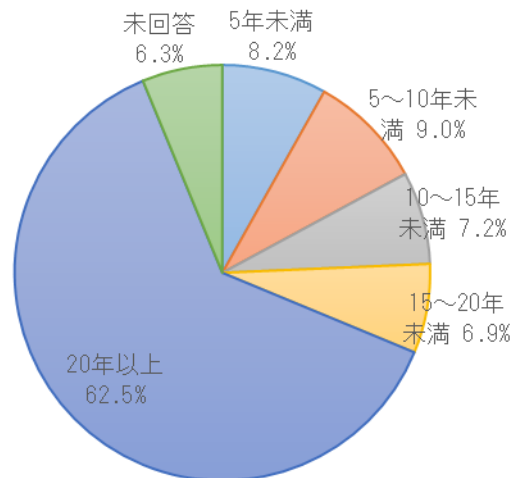
(5) 居住地

NO	回答項目	回答数	構成比
1	社台	33	4.5%
2	白老鉄南	161	21.9%
3	白老鉄北	155	21.1%
4	石山	54	7.3%
5	萩野	105	14.3%
6	北吉原	91	12.4%
7	竹浦	65	8.8%
8	虎杖浜	53	7.2%
9	未回答	19	2.6%
	計	736	100.0%



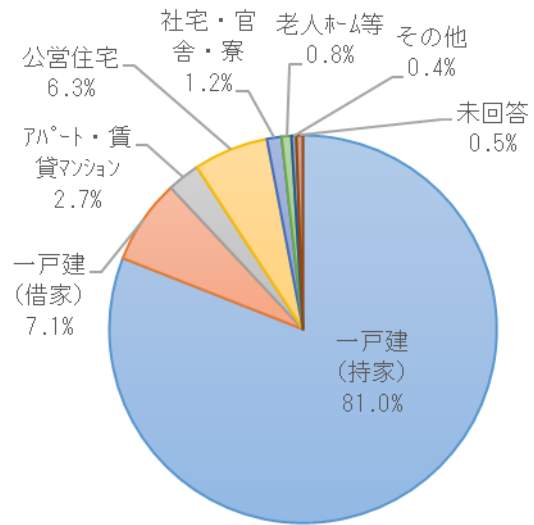
(6) 居住年数

NO	回答項目	回答数	構成比
1	5年未満	60	8.2%
2	5～10年未満	66	9.0%
3	10～15年未満	53	7.2%
4	15～20年未満	51	6.9%
5	20年以上	460	62.5%
6	未回答	46	6.3%
	計	736	100.0%



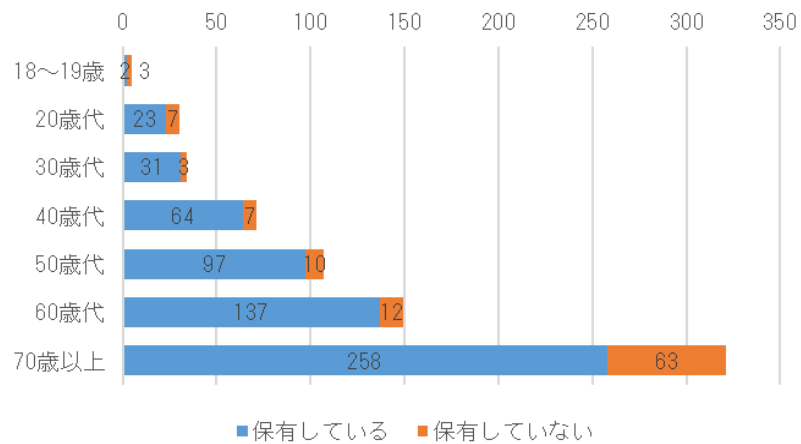
2 お住いの住宅の種類についてお答えください。1つに○。(N=736)

N0	回答項目	回答数	構成比
1	一戸建（持家）	596	81.0%
2	一戸建（借家）	52	7.1%
3	アパート・賃貸マンション	20	2.7%
4	公営住宅	46	6.3%
5	社宅・官舎・寮	9	1.2%
6	老人ホーム等	6	0.8%
7	その他	3	0.4%
8	未回答	4	0.5%
計		736	100.0%

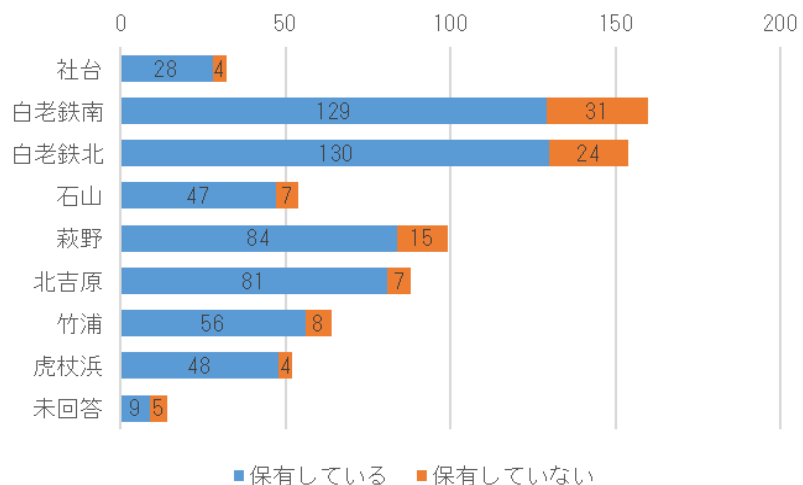


3 自家用車の有無についてお答えください。1つに○。(N=717)

(1) 年齢別



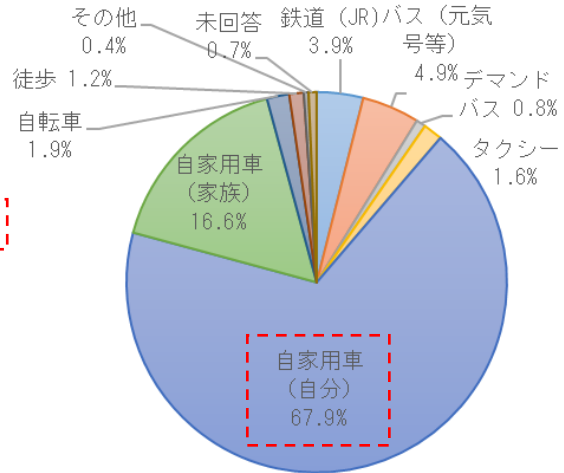
(2) 地区別



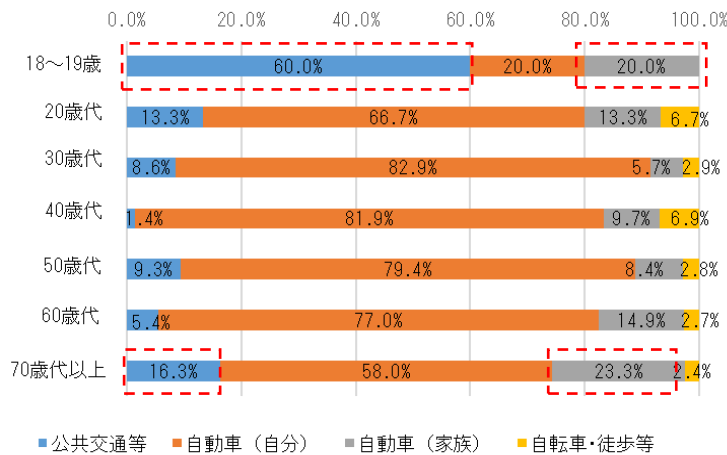
## 問2 日常の交通手段について

1 現在の生活全般において、最も利用している交通手段と、その交通手段を選択した理由は何ですか。それぞれ1に○。(N=736)

NO	回答項目	回答数	構成比
1	鉄道 (JR)	29	3.9%
2	バス (元気号等)	36	4.9%
3	デマンドバス	6	0.8%
4	タクシー	12	1.6%
5	自家用車 (自分)	500	67.9%
6	自家用車 (家族)	122	16.6%
7	自転車	14	1.9%
8	徒歩	9	1.2%
9	その他	3	0.4%
10	未回答	5	0.7%
	計	736	100.0%



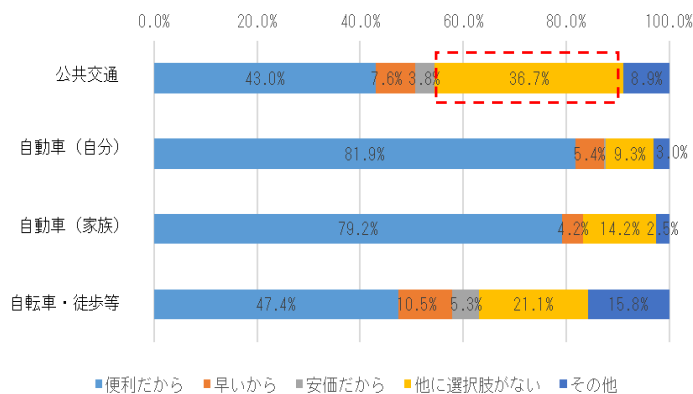
### ■ 年齢別交通手段構成比 (N=728)



#### ● 自家用車の利用が依然として多い

- ・最も利用している交通手段は自家用車 (自分で運転)。
- ・公共交通・自家用車 (家族の送迎) の利用は、若年層と高齢者が多い傾向にある。

### ■ 交通手段別理由構成比 (N=715)

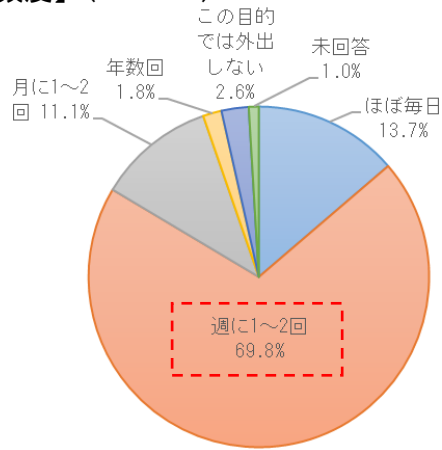


- ・公共交通を利用する理由として「他に選択肢がないから」という意見が多くみられた。

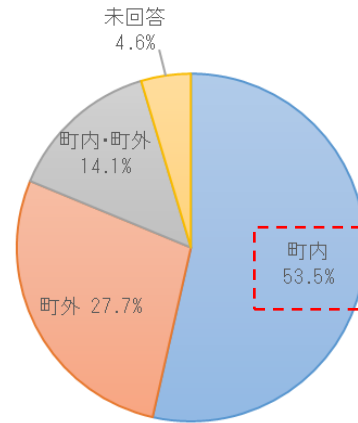
2 あなたがよく行く場所について、目的別に頻度・行き先・交通手段を教えてください。それぞれ1つに○。

(1) 食料品などの日常の買い物

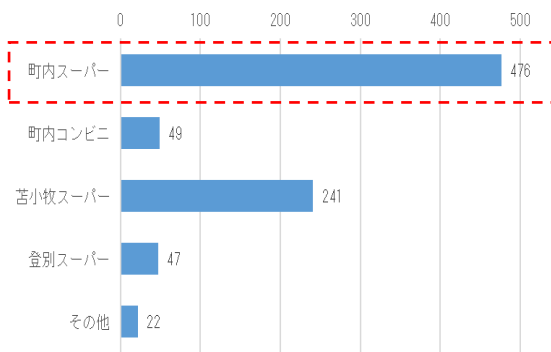
【頻度】(N=736)



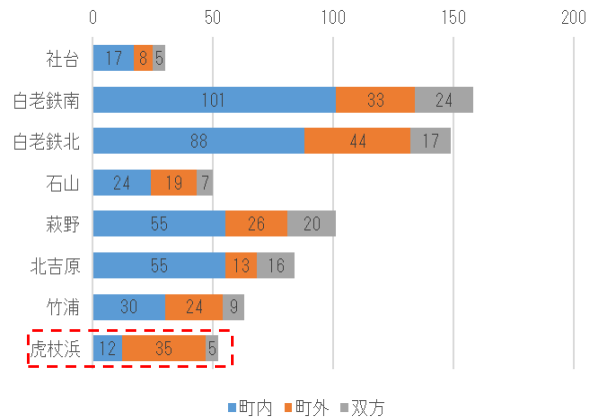
【行き先】(N=736)



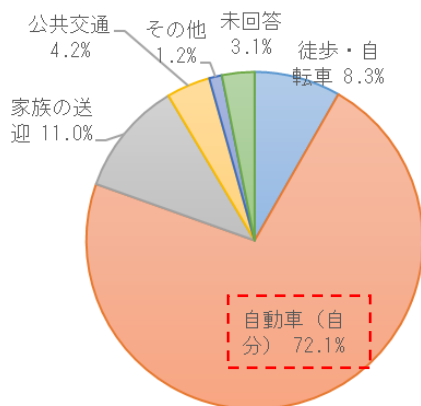
■ 具体的な行き先 (N=835)



■ 居住地と行き先のクロス集計 (N=687)



【交通手段】(N=736)



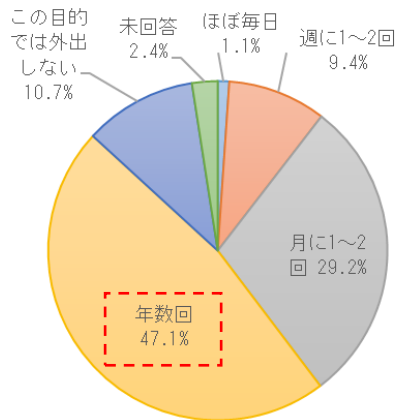
● 町民の半数は町内のスーパー(市街地)で食料品等を調達

- ・食料品等の買物の頻度は週1~2回程度が最も多い。主な行き先は町内が5割、町外が3割となり、町内の市街地スーパー等への買物が多く見受けられる。
- ・居住地と行き先のクロス集計から、虎杖浜地区については、町外への買い物が多く見られた。
- ・主な交通手段は、自家用車が7割と最も多く、公共交通は1割未満となっている。

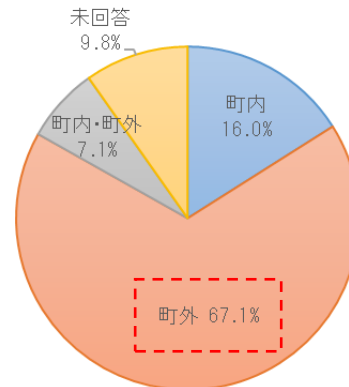


## (2) 衣料品・家電・家具などの買い物

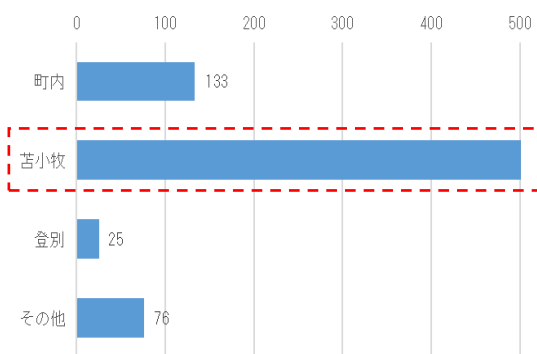
【頻度】(N=736)



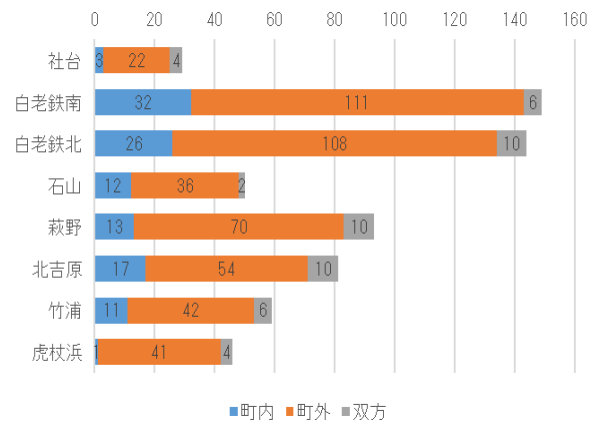
【行き先】(N=736)



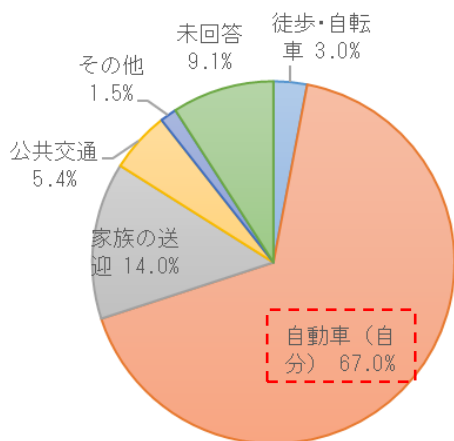
■ 具体的な行き先 (N=738)



■ 居住地と行き先のクロス集計 (N=651)



【交通手段】(N=736)

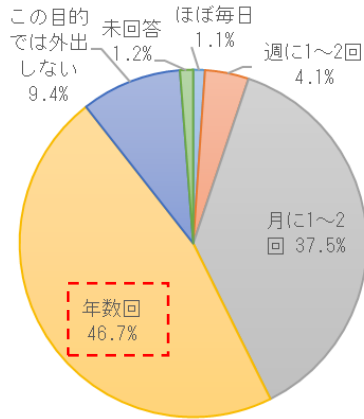


### ● 町民の約7割が衣料品等を隣町で調達

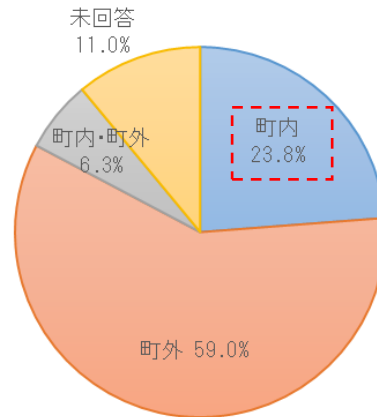
- ・ 衣料品等の買物の頻度は年数回が最も多い。次いで、月1~2回の順となっている。
- ・ 主な行き先は町外であり、隣町の苦小牧市への買物が多く見られる。
- ・ どの地区においても、衣料品等は町外で買物している傾向が見受けられる。
- ・ 主な交通手段は、自家用車であり、公共交通はあまり利用されていない。

### (3) 病院や福祉施設などへの通院・通所

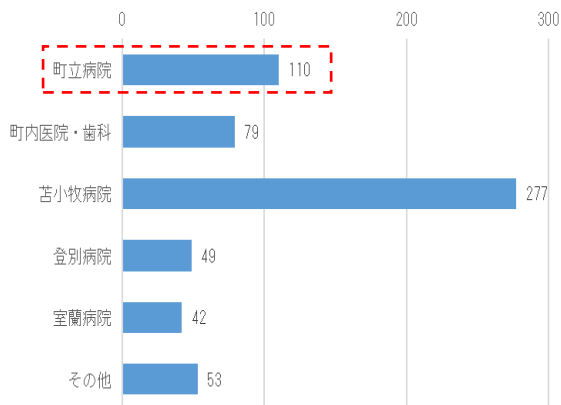
【頻度】(N=736)



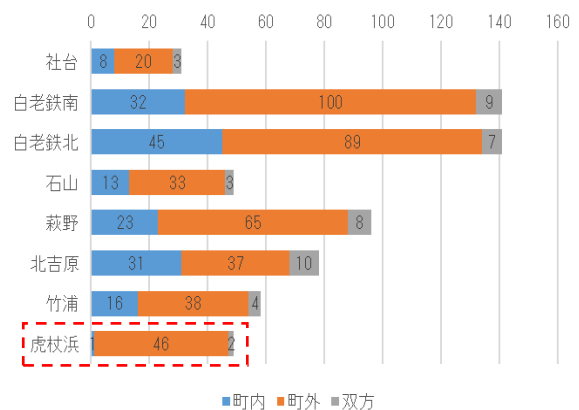
【行き先】(N=736)



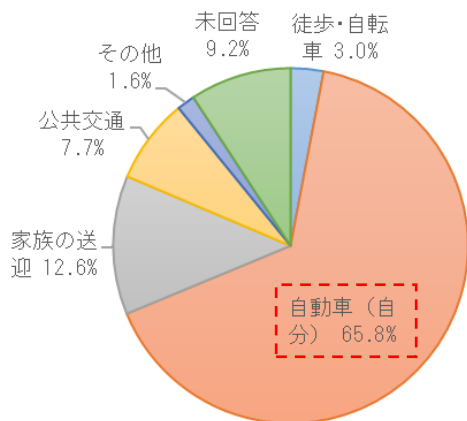
■ 具体的な行き先 (N=610)



■ 居住地と行き先のクロス集計 (N=643)



【交通手段】(N=736)

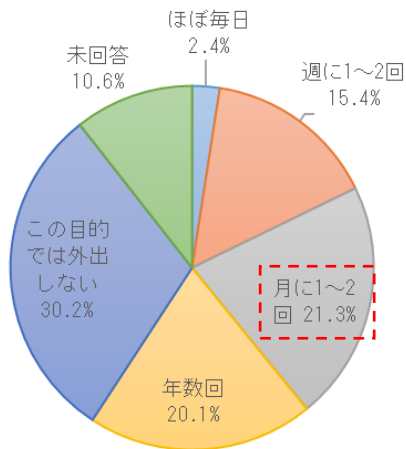


● 町民の1/4が町内の病院を利用。そのうち、半数以上が町立病院の利用者

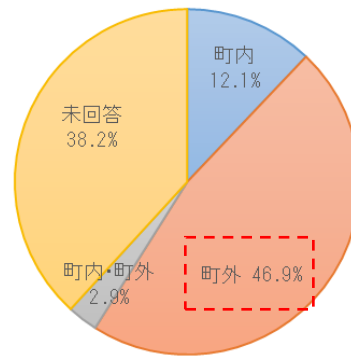
- ・ 病院等への通院の頻度は年数回が最も多い。次いで、月1~2回の順となっている。
- ・ 町内への通院等は全体の1/4程度であり、具体的な行き先としては、町立病院がその半数以上を占めている。
- ・ 虎杖浜地区は、登別JCHOの開院もあり、町外通院の傾向が強く現れている。
- ・ 主な交通手段は自家用車であるが、他の用事に比べ、公共交通の利用割合が高い傾向にある。

(4) 放課後・仕事後や休日に遊びに行く場所

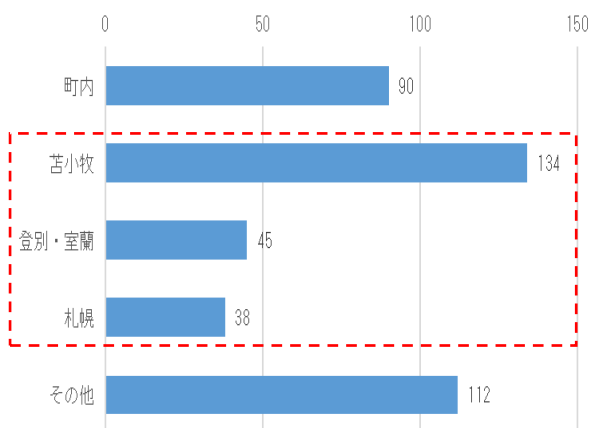
【頻度】(N=736)



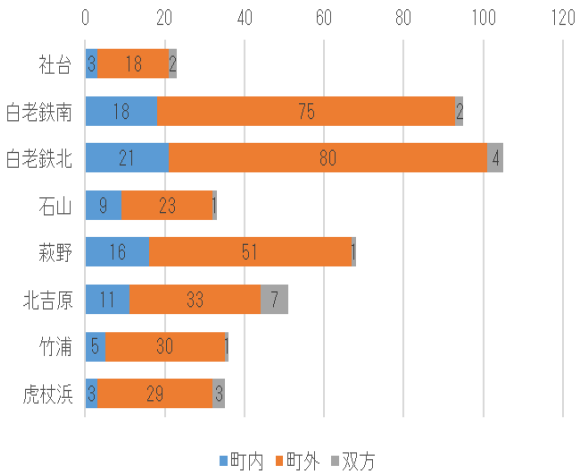
【行き先】(N=736)



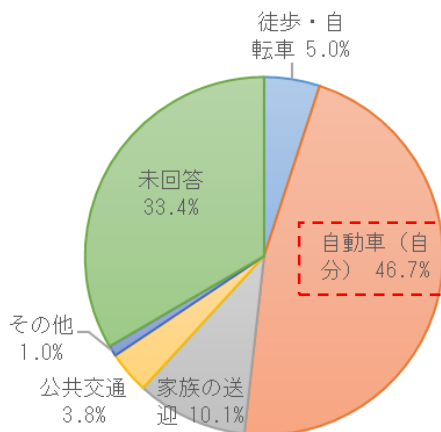
■ 具体的な行き先 (N=419)



■ 居住地と行き先のクロス集計 (N=446)



【交通手段】(N=736)

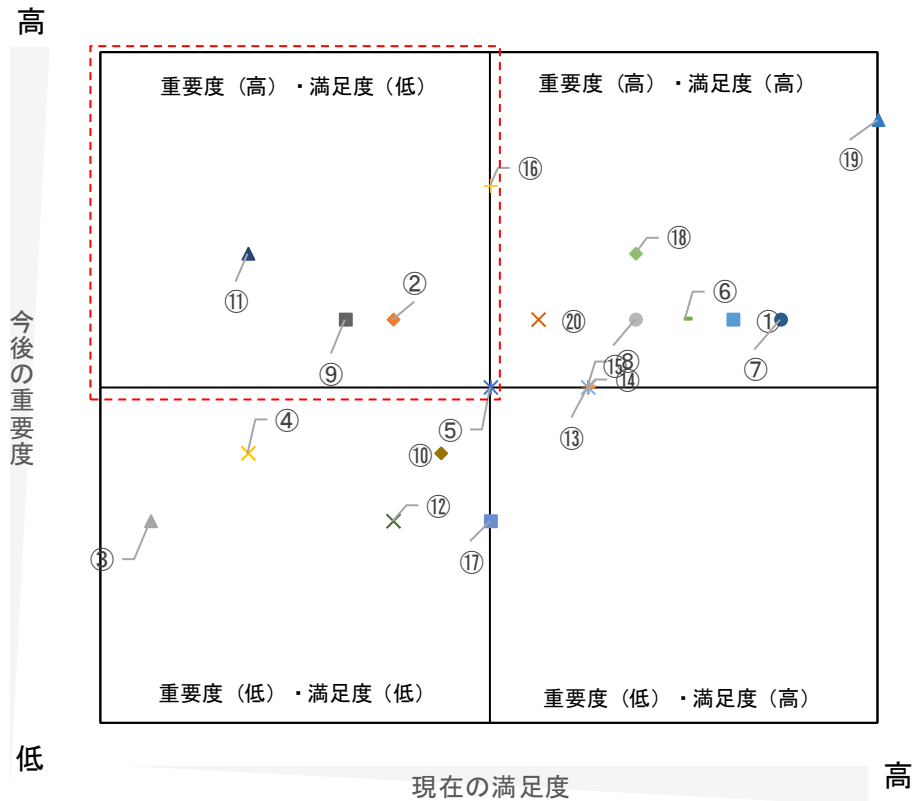


● レジャーは町外が多い。町内観光を楽しむ町民も一定割合いる

- ・ 休日等に遊びに行く頻度は月 1~2 回が最も多く、次いで、年数回の順となっている。
- ・ 主な行き先は町外であり、近隣市町や札幌への外出が意見として多くあげられた。また、町内においてはウポポイや温泉、萩の里自然公園など、町内の観光名所が具体意見としてあげられている。
- ・ 主な交通手段は自家用車であり、公共交通はあまり利用されていない。

### 問3 暮らしの現状と居住意向について

- 1 あなたの白老町における暮らしの現状についてお聞きします。以下項目の「現在の満足度」と「今後の重要度」を教えてください。それぞれ1つに○。(N=736)



総合的な住みやすさ 現在の満足度

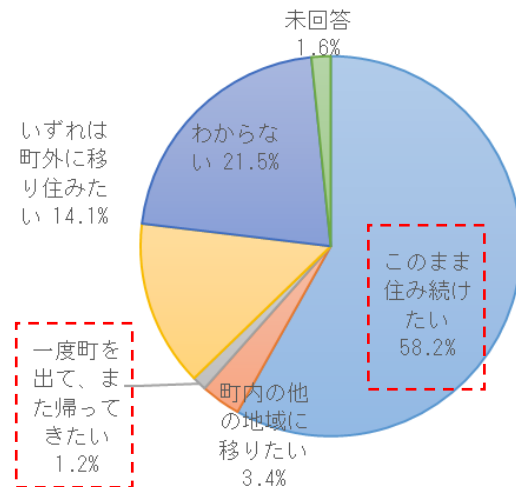
3. 1

- |                     |                         |
|---------------------|-------------------------|
| ① 住宅地としての環境         | ⑪ 医療・福祉施設の充実            |
| ② 日用品の買い物の利便性       | ⑫ 文化・スポーツ・レクリエーション施設の充実 |
| ③ 市街地のにぎわいや活気       | ⑬ 観光資源・観光施設の充実          |
| ④ 工場・事業所などの働く場の充実   | ⑭ 河川環境の整備と治水機能の強化       |
| ⑤ 身近な生活道路の整備状況      | ⑮ 処理供給施設の整備状況           |
| ⑥ 国道・道道などの幹線道路の整備状況 | ⑯ 災害に対する安全性             |
| ⑦ 自動車での移動のしやすさ      | ⑰ 港湾整備の推進と利活用促進         |
| ⑧ 交通安全に対する施設・取組     | ⑱ 犯罪に対する安全性             |
| ⑨ 公共交通機関の利便性        | ⑲ 自然環境の豊かさ              |
| ⑩ 公園・緑地の整備状況        | ⑳ まちなみなどの景観の美しさ         |

- 総合的な住みやすさは平均値。「買い物」、「公共交通」、「医療」のニーズが高い  
「②日用品の買い物の利便性」、「⑨公共交通機関の利便性」、「⑪医療・福祉施設の充実」の  
3つが「重要度が高く、満足度が低い」分野であり、今後特に力を入れるべき項目である。

2 あなたは、現在のお住いの地域に住み続けたいと思いますか。1つに○。  
(N = 736)

NO	回答項目	回答数
1	このまま住み続けたい	428
2	町内の他の地域に移りたい	25
3	一度町を出て、また帰ってきたい	9
4	いずれは町外に移り住みたい	104
5	わからない	158
6	未回答	12
	計	736



【2を選んだ方の理由と具体的な転居先（主なもの）】

- ・実家の家に引っ越し予定です。転居先、萩野
- ・海側に住んでいるので塩害があるので
- ・年齢のことを考えると町の中心部に移りたい。
- ・借家なので中古物件を購入したい
- ・病院や店の近くが良いので！

【4を選んだ方の理由と具体的な転出先（主なもの）】

- ・車の運転が出来るうちは住みやすいが、免許証を返納した後が大変そう。
- ・仕事の都合上、都市圏（札幌周辺）や道外に住みたい
- ・高齢者には住みづらい。病院、交通等不安です。
- ・車がなくても買い物が行ける、遊びに行ける、そんな街に住みたい。
- ・病院、お店が近くにないため運転が出来なくなったら子供の近くに行くと思う
- ・病気になった時、病院又は買物など虎杖浜は登別に近いので元気号、せめて登別コープ、病院、ジェイコにも行けるようにと思う。
- ・日用品の買い物に不便を感じる。商店が少ない。
- ・住み続けたいと思うが将来病院へ通院・入院のことを考えると町内では不安
- ・生まれ故郷へ行きたいと思っている

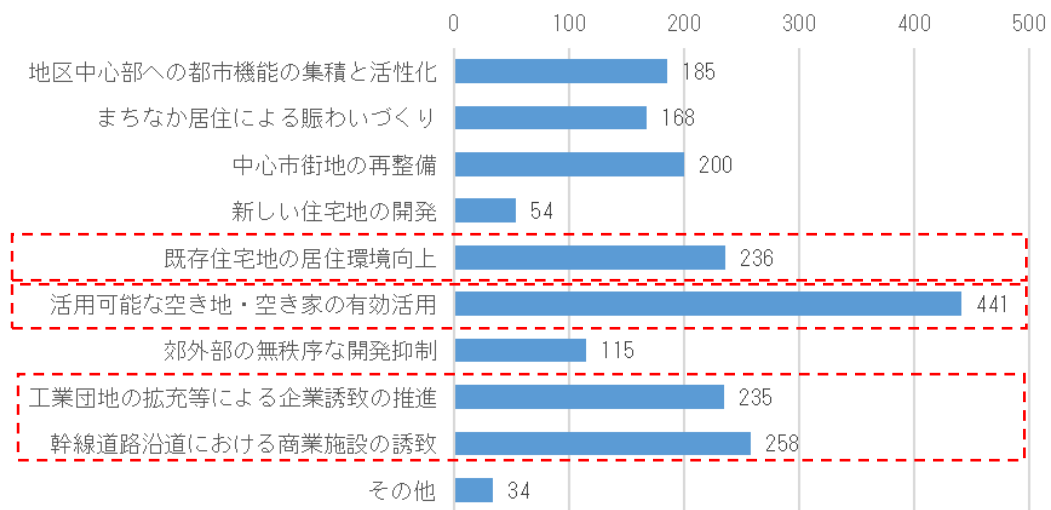
● 居住意向が約6割、令和元年町民意識調査より5%アップ

・「①このまま住み続けたい」と回答した割合が58.2%、「③一度町を出てまた帰ってきたい」と回答した割合が1.2%であることから、白老町に定住したいと考える方の割合は全体の約6割となった。

● 第6次白老町総合計画で示す定住意向（令和元年）の割合は54.3%であることから、本調査により、定住意向が5%程度上昇した結果となった。

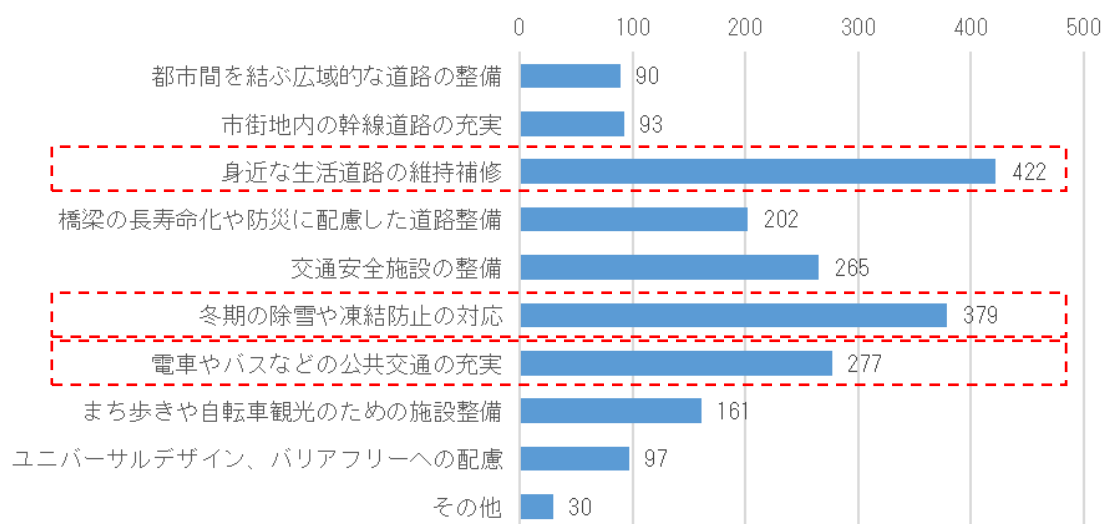
#### 問4 白老町のまちづくりについて

1 土地利用のあり方について、今後あなたはどのようなことを重視すべきだと思いますか。3つに○。(N=1,926)



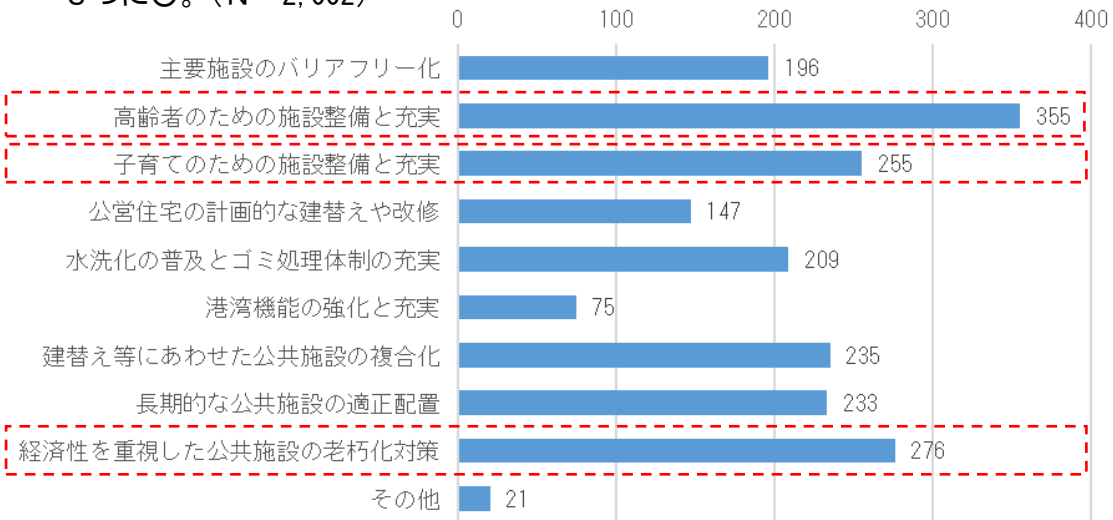
● 今後の土地利用には、「空き地・空き家対策」、「住環境整備」、「企業誘致等」が必要  
 「空き地・空き家の有効活用」が最も多く、次で「商業施設の誘致」、「既存住宅地の居住環境向上」、「企業誘致の推進」の順となっており、居住環境の向上とまちの活性化につながる土地利用が求められている。

2 道路や公共交通について、今後あなたはどのようなことを重視すべきだと思いますか。3つに○。(N=2,016)



● 今後の道路・公共交通には、「身近な生活道路の維持補修」、「公共交通の充実」が必要  
 「身近な生活道路の維持補修」が最も多く、次で「冬期の除雪や凍結防止の対応」、「公共交通の充実」の順となっており、日常生活に密接した道路交通環境の向上が求められている。

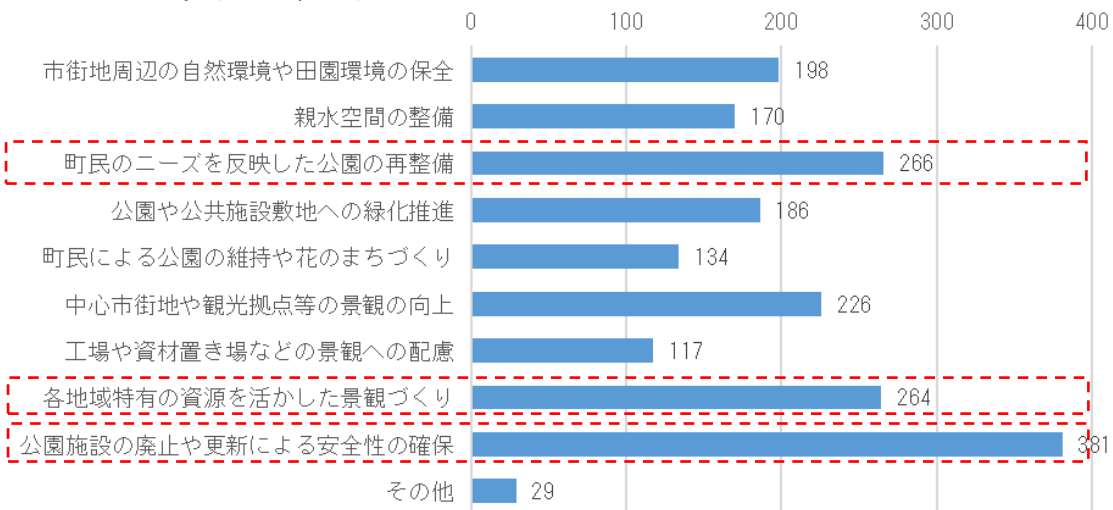
3 都市施設について、今後あなたはどのようなことを重視すべきだと思いますか。  
3つに○。(N=2,002)



● 今後の都市施設には、「高齢者施設」、「子育て施設」、「老朽化対策」が必要

「高齢者のための施設整備と充実」が最も多く、次で「公共施設の老朽化対策」、「子育てのための施設整備の充実」の順となっており、すべての世代が安心して暮らしやすい都市施設の整備が求められている。

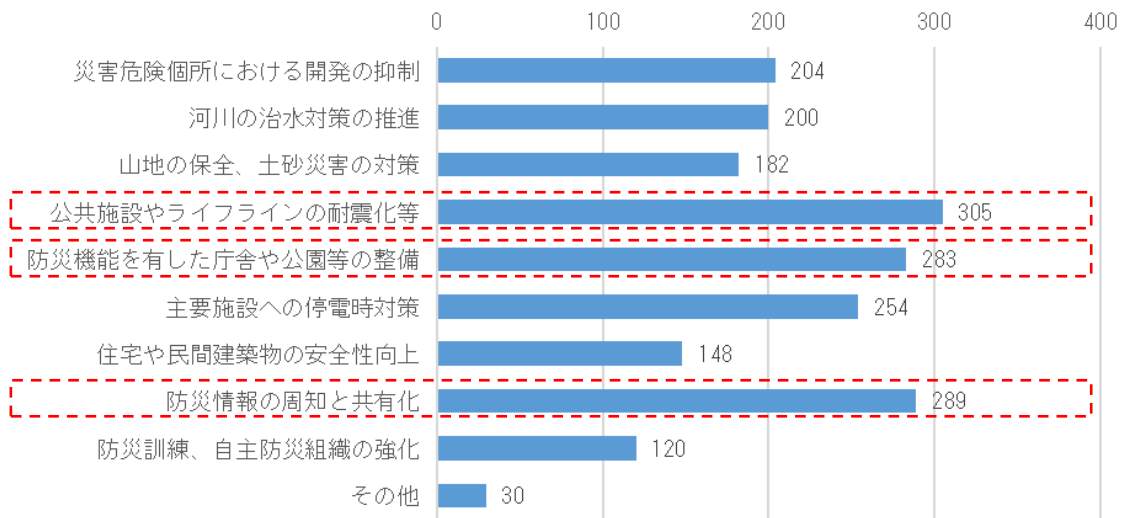
4 水と緑、景観について、今後あなたはどのようなことを重視すべきだと思いますか。  
3つに○。(N=1,971)



● 今後の水と緑、景観には、「公園施設の安全確保や再整備」、「地域特性に応じた景観づくり」が必要

「公園施設の廃止や更新による安全性の確保」が最も多く、次で「町民のニーズを反映した公園の再整備」、「各地域特有の資源を活かした景観づくり」の順となっており、人口規模に対応した公園整備や地域特性に応じた景観形成が求められている。

5 防災について、今後あなたはどのようなことを重視すべきだと思いますか。  
3つに○。(N=2,015)

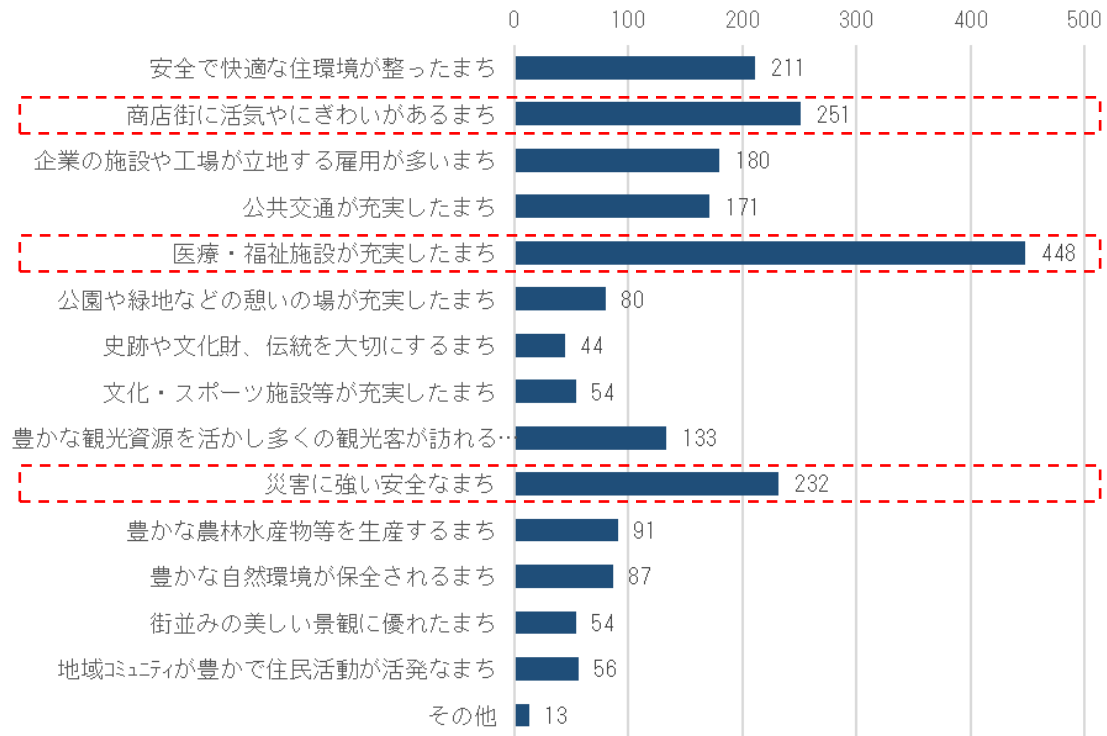


● 今後の防災には、「インフラの耐震化」、「防災情報の共有化」、「防災機能の強化」が必要  
「公共施設やライフラインの耐震化等」が最も多く、次で「防災情報の周知と共有化」、「防  
災機能を有した庁舎や公園等の整備」の順となっており、災害に強く安全性の高い都市環境  
の整備が求められている。



## 問5 今後のまちづくりの方向性について

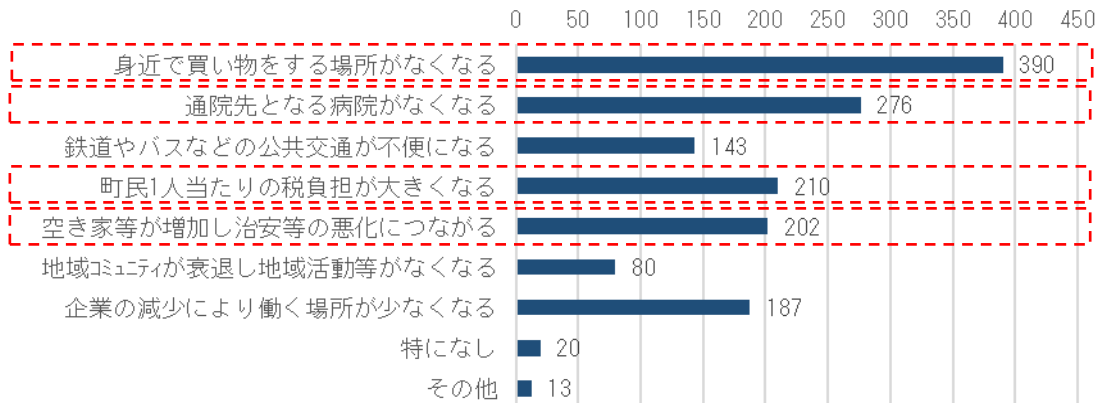
- 1 白老町における今後のまちづくりにおいて、どのようなことを目指していけば、まちの活性化や住みやすく、住み続けたいまちにつながるとお考えですか。  
3つに○。(N=2,105)



● 今後のまちづくりには、「医療・福祉」、「にぎわい・活気」、「まちの強靱化」が必要  
「医療・福祉施設が充実したまち」が最も多く、次いで「活気やにぎわいがあるまち」、「災害に強い安全なまち」の順となっている。誰もが住み続けたいと思えるようなまちをつくるためには、まちの活力向上と安全安心な住環境整備が求められている。

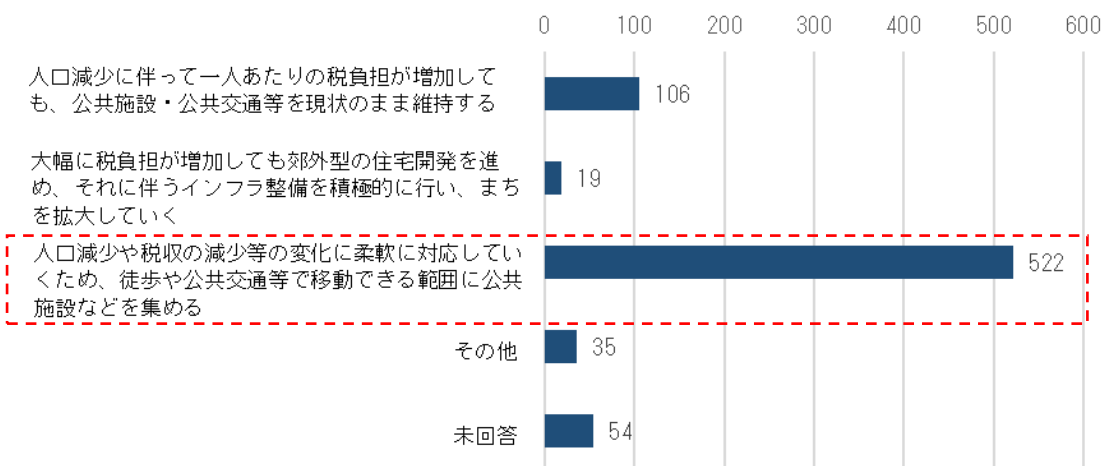
## 問6 人口減少・少子高齢化に対応した持続可能なまちづくりについて

- 1 人口減少や少子高齢化の進展により、将来、あなたの生活において特に心配されることは何ですか。2つに○。(N=1,512)



● 人口減少に伴う将来の心配事は、「買い物」、「病院」、「税負担」、「空き家」など「身近で買い物をする場所がなくなる」が最も多く、次いで「通院先となる病院がなくなる」、「町民1人当たりの税負担が大きくなる」、「空き家等が増加し治安等の悪化につながる」の順となっている。

- 2 前問で示した問題を未然に防ぎ白老町が引き続き発展を遂げていくためには、今後どのようなまちづくりを行っていくべきだと思いますか。1つに○。(N=736)

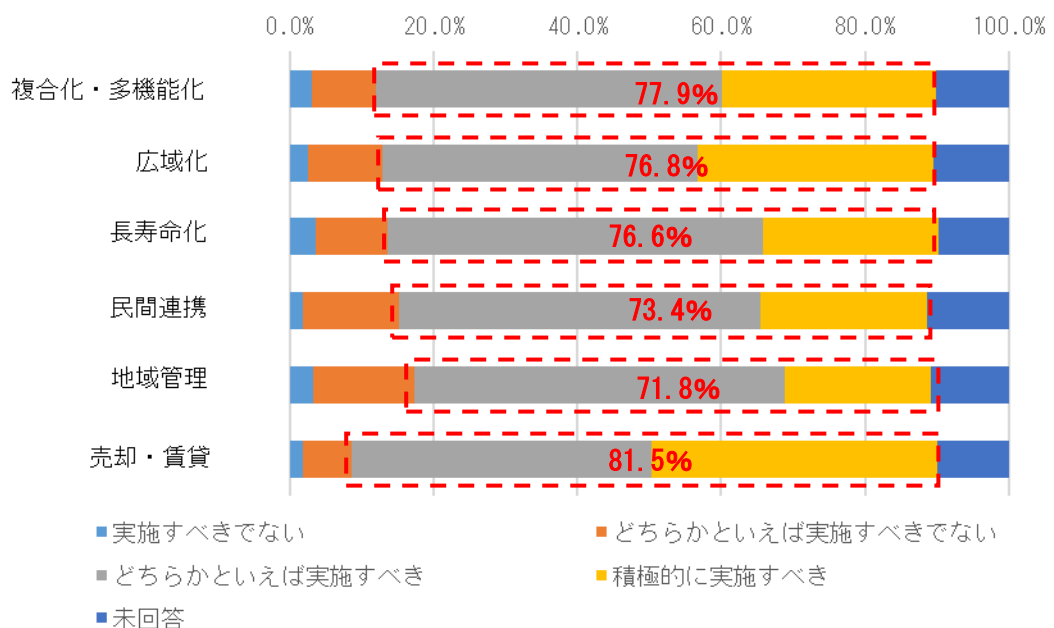


● 今後は、人口減少に対応した都市づくり（コンパクト化）が必要  
「人口減少や税収の減少等の変化に柔軟に対応したまちづくり」と回答した人が全体の7割以上を占めることから、これからのまちづくりには、まちの拠点への集約化が求められる。

- 3 本町では人口減少や財政課題に対応するため、公共施設等総合管理計画を策定し、公共建築物の総量（延べ床面積）削減に努めております。将来に向けた公共施設の再配置や町有財産の有効活用を図るため、今後の公共施設のあり方について、あなたの考えに最も近いものを、それぞれ1つ選んでください。（N=736）

NO	項目	複合化・多機能化	広域化	長寿命化
1	実施すべきでない	3.0%	2.4%	3.5%
2	どちらかといえば実施すべきでない	9.0%	10.3%	10.1%
3	どちらかといえば実施すべき	48.1%	43.9%	52.3%
4	積極的に実施すべき	29.8%	32.9%	24.3%
5	未回答	10.2%	10.5%	9.8%
計		100.0%	100.0%	100.0%

NO	項目	民間連携	地域管理	売却・賃貸
1	実施すべきでない	1.8%	3.1%	1.8%
2	どちらかといえば実施すべきでない	13.5%	14.1%	6.8%
3	どちらかといえば実施すべき	50.3%	51.6%	41.7%
4	積極的に実施すべき	23.1%	20.2%	39.8%
5	未回答	11.4%	10.9%	9.9%
計		100.0%	100.0%	100.0%



● 公共施設の合理的運営を求める意見が7割以上、運営コストの削減が求められる売却・賃貸について、「積極的に実施すべき」、「どちらかといえば実施すべき」と回答した人の割合が全体の8割以上と最も高く、その他の項目については全て7割を超えている。今後の公共施設のあり方としては、更新や維持管理に係るコスト削減を意識しながら、合理的な運営手法等について検討していかなければならない。

問7 最後に、白老町のこれからのまちづくりに対してのご提案・ご意見などがありましたらご自由にお書きください。

- アンケートに答えるには勉強不足でした。これから白老を知っていこうと思います。
- 子ども達に笑顔いっぱいのまちづくり。外部から入ってきた人たちにやさしい対応。人材がこれからのまちづくりを担っている。資材(自然、食 etc)に恵まれている白老、楽しみな町でもあります。
- 町内会不要。婦人部は特に不要。
- 町立病院 入院病床廃止
- 人口減少は白老だけの問題ではないと思います。虎杖浜エリアは、登別駅前周辺が利用しやすいので、登別と連携し、人の流れを作り、自家用車がなくても移動がしやすくするなど、虎杖浜駅を JR を利用しなくても人がいる場所にするなど…(寄りどころ、集いの場所など)。町内の無人駅は暗い、汚い、こわいというイメージです。
- 白老の温泉住宅地は、別荘や退職後定住した都市からの移住者がたくさんいます。私もその一人です。白老に都会を求めているわけではなく、温泉と静かな田舎暮らしに満足しています。なので、よその街の人達も入りたくなるような終の棲家となる老人施設があればと思います。一軒家を維持できなくなったとき住み替えられるような温泉付き有料ホームを誘致出来たら人口も増えるのではと考えますがどうでしょうか。
- 眼科や耳鼻科にかかる際、苫小牧まで行かなくてはならないのが負担がかかるので町内の医療を充実してほしい。
- 萩の里公園等に桜や紅葉(花の咲く樹木)を多数植え観光客を集める工夫をした方が良いと思う。
- とにかく今更ながらネット環境がない状態、リモート中心の仕事が出来ない。町役場の担当は全く話にならない。デジタル省が出来るこの年に遅れすぎ！！
- 雪が少なく夏涼しいことを多くピーアールして他県などから呼びよせて人口を増加につなげる。使用していない大型宿泊施設を利用し短期・長期に過ごしてもらい町の良さを知って永住してもらおうことにつながる。
- ウポポイ中心の町づくりに集中しているが他地域は商店も少なく、日常の買い物にも苦勞している。今後は増々高齢化により、買い物にも行けなくなり、不安ばかりである。白老全体の地域の実情を見てほしい。郊外には公園もなく、散歩するにも最悪な状況である。
- 人が集まる場所はきれいである事。
- 白老町の良い所は海。もっと港を活用。
- ゴミが落ちていない、キレイな町並みの維持！小さい子どもが遊べる空間をつくる！古い遊具がいっぱいで遊べません！→遊具の充実！お年寄りが休憩できる場所をつくる！公園のベンチが古いです！直して下さい！バリアフリーの場所を多くする！
- 今ウポポイの重要さを主としていますが片寄らない町作りをして欲しい。一般の町民は不満が有っても言えない状況であることを知って欲しい。以前のように町民年齢関係なく参加出来たお祭りやイベントを復活してほしい。町の中で行えるイベントが有ると活性出来ると思う。他の市町を見習うべきだと思います。

- 末広公園に柵をまわしてほしいです。危険性が高い。ほかの公園には柵がついているところがたくさんあります。遊具も新しくしてあげてください。
- 1人1人が町に愛着のある町であること、古いものが無形、有形、残り、子どものころの思い出が大人になっても、老人になってもある町。この町に生まれて来てよかった、住んでよかったと思え、又、他の町の人々からも、白老は「いいね！」と言ってもらえる土地でありたい。1人1人が豊かな心を持ち、愛する人々でありたい！
- 公用車で水道関係？を点検中と思われていたが車の中にヘルメットがあるにも関わらず未着用のまま作業していた。(安全に気を付けて下さい)
- 5年前引越してきた時、町にしては大きくて活気がある町だと思いました。住んでみてアイヌの博物館の存在が大きくなっていることが分かりました。中心街ではほどほどに活気が戻っていると思いますし、雪も非常に少なく暮らしやすい町だと思いますのでアイヌの文化をもっともっと積極的にアピールしたほうが良いかと思います。中心街でアイヌマーケットなんかできたら、博物館まで行かなくてもふらっと楽しめるのになあとと思いました。
- (社台～虎杖浜)6町内に商店(スーパー)が消え、コンビニばかり老人増の為、徒歩で買物出来る店がほしいと思います。どうしても町外に出てしまい税がもったいない。又空家が有り、破壊され諸動物が住家になり、畑が荒らされ困る。昨年、今年とコロナ感染及び万延されない様に、保健衛生課の活動がほしい。
- 今後は少子高齢化が避けられない現状を考えますと、現状の税収枠のままであれば、町全体が衰退する状況と思われます。少しでも税収を増やす方法として、1)白老町に道の駅を立ち上げる・・・観光客の誘致 2)白老町のふるさと納税の拡販・・・税収増 3)白老町の特産品をブランド認定品枠を設定して町の推薦としてインターネットなどの活用にて販路増産につなげるにより企業の増益により雇用が生まれ税収増を達成する。 4)ウポポイへの観光プロモーションの拡充促進。
- 道内のどこかの村の話しを聞いたことがあります。首長の方針が①買物できる店が10分位内にある町、②医をなくさない、以上の2項を保てば街はすたれる事はない。
- 町政の総括を行ない、失政を改善して欲しい。1.バイオ燃料の失政、2.港の拡大の失政、3.町立病院のあり方※転倒して病院へ行ったら医師が不在で見てもらえない病院はいらない。多大な財を投入し、将来的な負担強いられる恐れがある。
- ウポポイのバスが空で走っているが、遠くの小学生を乗せては？
- 子を持つ親が観光地として訪れたいと思う工夫をすべき。
- 病院やスーパーなどにATMを設置してほしいと思います。
- 問6-3での地域管理は少子高齢化でより一層無理と思われる。
- 公園にトイレがない。遊具が古いものばかり。
- 人口に対しての議員の数が多すぎると思います。消防も職員数が多すぎると思います。
- 町外ではなく、町内で生活できる…。又、子どもが外で遊びたくなるような公園や安全環境、年配の方々ではなく、子供がのびのびと暮らせる白老町のまちづくりをすれば、おのずとして白老町で暮らす家族が増えると思います。
- 上下水について、税の負担について、公平の観点から上下水の支援に(利用者の支援)については、慎重に行うべき。

- 町政に関わる方に全員にお願いします。これから先の白老町の行末は自分の人生と一緒に考え、町民と共に悔いの無いよう歩んでいただきたく、切に願います。
- 今何が求められているのか、年代別に知る事。キャンプ場＝災害時の集合場所に。公園に災害時に使用できる、水や毛布など保管、簡易トイレ、テントなど。
- これからの日本において少子高齢化はさらに進むと思われます。高齢化は誰にとっても避けられない問題。どうぞ高齢者にやさしいまちづくりをお願い致します。高齢者にやさしいまちは、だれにとってもやさしいまちになると思います。
- 町職員の顔が見えてこない。積極的に白老町を考えてくれる町職員を希望します。
- 毎年、毎年、我が家の庭に除雪の雪を大量においていかれます。きっと空地だと思っているのでしょうがうちの庭です。固定資産税を減らしてほしいです(笑)
- コミセン、役場など清掃に業者を入れるのではなく自分たち(役人)でできないのか？コミセンのブラインドなど何年も掃除されていないと思われる程ほこりがついている。
- 今後の町づくり人口減少に伴い、交流しやすい環境づくり、町民による公助、共助の体制づくりが必要と考えます。少子化また高齢化を増長し町の町づくり、今後の各支援体制の維持が難しくなると考えます。総合的町の体制づくり政策が必要ではと考えます。
- 問 6-3: すごく良い事ばかりの項目ですが財政課題ですのでメリット、デメリットが見えないので願望だけになり答えづらい。夕張市が過去に成功しているように私には見えます。事情が異なりますが夕張市の参考に出来る資料も添付していると自分自身も考えると思います。
- 外部から資金を得る為、自然を活かした大規模な施設(遊び場、アスレチック等)を作り、家族で遊べる何度も来なくなる町づくりをすべき。白老の経済効果を出す方法を模索すべき。
- 高齢化人口減少により、財政面でも労働面でも苦難の多い時代を超えなければなりません。白老に住みたい、住んで良かったと思える町にする為には地域住民が何事にも団結し、町民の出来ることは、協力していかなければなりません。国立アイヌ民族博物館もオープン出来、多文化共生のまちづくりも大いに期待してやみません。職員の方々も大変ご苦労の多いことと存じますが頑張ってください。宜しく願い申し上げます。
- 町内会に(住民に力を貸す)草刈や花の育て方まで町民にもっと働いて(協力)もらうこと。年金者をもっと活用すること。上(役場)から指導より、住民を活用(協力)すること。
- 今は、自家用車で用事を済ませる事が出来ていますがいずれ免許証返納する時がきたらデマンドバスを利用したいと思っておりますので、これから先も運行を続けて欲しいと願っています。
- 今回のアンケートで聞いていることが重複しているのはなぜなのか…もう少し簡素化することが出来るのでは。町内の公園の遊具が次々撤去されていくだけで子供が安心して楽しく遊ぶ場所が減っていくのをさみしく感じます。結果真新しいもの(例えばポロミンタラのふわふわドーム)にだけ人が集まるがコロナ渦での密集問題や高学年の危険な遊び方によって低学年や幼児が安心して遊べる場所がありません。これからの将来を担っていく子供達を大切にする町づくりを切に願います。
- 子育て支援等が充実していなければ若い人たちはどんどん外に出ていってしまうと思います。もう少し若者に目を向けたまちづくりをしていかなければどんどん都会にいつてしまうし、働き手も増えないと思います。

- JR・バスの待ち時間が 30 分程度になるのは嬉しいですが…次の電車、バスまで 2～3 時間の時間帯があり、1 本乗り遅れるだけでつらいです。
- 町内の温泉資源は各温泉組合が個別に運営管理しているが運営管理にまで踏み込まなくても新規移住を抑える傾向のあるやり方を増やす方向に向ける為に出来る事を町が意思の疎通を促せると良いと思う。白老町ほどの規模で温泉を有効利用している所は道内にありません。町が積極的に関わることで移住先としての魅力を全国に伝えることが出来ると思います。
- 海岸のゴミ、漂流物回収トラクターを購入して海岸の掃除を毎年 2 回とかやってくれたらよい。
- 以前に飲食店が増えていた時期にラーメン屋をやりたいと申請したにも関わらず難色を示した職員がいたと聞いた。カフェばかりつくっても飽きる。色々な年代の人たちが集まるとその人たちが連れてくる家族も家を増えるのでカフェばかり重点を置かない方が良い。ラーメン屋が町中になく町ってどういんでしょう。寿司屋もない。詰まんない町に人口が増えるのか。
- 苫小牧市にあるドン・キホーテやイオンなどの大きい施設があったらいい。(カラオケとかも)働く場所が少ないから増やす。
- 高齢化も進み、若い人もわざわざ住もうとは思わない。町づくりのアンケートに記入しています。
- 若い人材が白老で働くことが出来る企業を白老へ呼び込む。白老で育った子供達が都会へ流出してしまう。自分の子供達も白老で生まれ育ち、大きくなって働く場所がない為、苫小牧、札幌へと行きました。
- 税金をお給料としてもらっている位なんですからちゃんと働いてください。こんなの聞いてもどうせアンケートを取ったで満足するだけでしょ。このままだと夕張になるんだらうなと思ってしゅしゅふるさと納税をあきらめてますがよその土地にあげてプレゼントをもらったほうがずっとマシです。職員もスタッフもサービスが悪い町立病院なんていません。
- 上記の地域管理は人口減少と高齢化でますますできなくなるのでは？
- 今後の社会生活でインターネットは必要なので、白老町のどこのエリアでもネット環境の差がないようにしてほしい。現在もその点において、不便を感じている。生活において今後色々なことが出来なくなると思うので。
- 白老町の豊かな水資源、温泉施設を中国資本へ売らない様に！（特に中国に売るな！）
- 働ける所を多くして人口が増えると思います。税金が高い話はよく聞こえてきます。子供がたくさん生まれて(子育てには良い所だと思います)安心して町内でお産できるようにしたら買い物難民を作らないようにして下さいうれしいです。よろしくお願いします。
- 大企業を誘致して住民を増やすべき、生活していけそうな場所が白老の町中しかないのでお年寄りには生活したくない土地なので改善すべき、大量に土地が余っているので北星公園のような大きな公園を作った方がいい、こんなアンケート取るよりも町長自ら情報収集(色々な町民に直接話を聞く)した方がいいと思う。正直言うと、若者の話などほぼ聞かないという噂を聞くので。
- 萩野地区には商店がないため、日常食糧品はすべて白老町本町まで出かける。高齢化に伴い、自動車の所有はなく、すべて元気号の利用である。そこで萩野地区に商店を誘致してほしい。町有地の無償、光熱費の補助などで商店を誘致する。
- 高齢者が多くなるので外で歩いていつでも体を休めるところが欲しい(ベンチ)。町全体に健康体操を流して 1 日 2 回程度一人から二人と増やして町のシンボルにしてみてもどうでしょうか。

- 1.社台地区は市街化調整区域開示をしてほしい。 2.若者職場づくり 3.町を都市計画をたてる  
4.国道 36 号線～JR など便利で白老町冬は雪が少なくこないいいところないですよ。
- 新型コロナ対策については何もいいのか。情報ないのは、不安でしかないのでは。
- 公共交通を住民参加の意向集約でより良い方向を追求する。運転免許を返納しても生活できる交通の確保。
- 町立病院は不要です。以前右手を切ってしまい大量の出血が止まらず夕方病院に駆け込みましたが医師には診療を拒否され、看護師は「苦小牧の救急病院に行けば」と言われて止血すらしてもらえませんでした。右手のケガなので自分で止血も出来ないし、一人暮らしなので苦小牧まで連れて行ってくれる者もいないんです。事情を話しても看護師は止血すらしてくれず(できないのか?)私が「救急車を呼びます!!」という「そんな大げさな」と笑っていました。結局なんの処置もしていただかず、翌日、苦小牧の外科へ。それ以前にも一人暮らしをしている町内の母が土曜日の午前中に骨折した時も時間外ということで診療拒否されています。急なケガや病気に対応してくれる町民のための病院ではないのなら全く必要ありません。こんな医師、看護師、職員に無駄な税金を使われたくないと思います。
- 緑化の為なのか、防風林的なのかかわからないが公住に植えてある、ナナカマドの木は迷惑。鳥のフンや花粉で車が汚れる。撤去してほしい。
- 残念だが何もかも政策が「中途半端」。住民アンケートを取ったところで、リーダーシップと新しい発想を持って政策を進めなければ、労力のムダと思います。①白老町の目的方向性を明確に示す。②その方向性は、他の町にない先駆的、先進的なもの。③DX(デジタルトランスフォーメーション)を考慮。
- 白老町の町づくりを聞かれましても人口減少を止め、魅力ある町づくりを是非考えております。
- 今はデマンドがありますがい物するところも少なく娯楽も無く、年寄り若者に関係なく楽しみが少ない町です。遊園地も無く公園にはすべて遊具に禁止のテープが張ってあり使用できなく、コロナが終息して子供達、孫達が地域に帰ってきた時、遊ぶ所がありません。直すか撤去してほしいです。若者が住んでくれるよう新企画工場誘致を希望します。おつかれ様。
- 「売却・賃貸」について、目先の利益にとらわれて、転売され持ち主がどこの誰なのかわからなくなるような利用の仕方(特に中華系資本が入ってくると)をされては困るので、法的にも対応できるようにしておかないと豊かな森林や水源、海、土地は食いつぶされ失われてしまうと思う。
- 白老町という単独自治は合理的に考えても無理、他市に吸収されるべき。
- 高齢化に伴って、税金対策として、町内に税金が入るようにすべきではないでしょうか。1つとして町役場に勤務する職員は町内に住む事を必須とすべきです。白老町から(税から)お給料を受けて税は苦小牧とか近隣市などに税金を上納するのはおかしいです。町民は町内に納税すべきです。元は決まりがあったと思います。その方が町内での雇用も増えて若い人も定着すると思います。
- 人口減を前提として集約化が必要
- 過去に端末を利用した図書の予約等郵便局で出来るシステムがあったが2～3年で終了した!!上部の強引な行動でやるのはどうか?田舎のジイサン、バアサンが利用するはずがないのに、始めからこれはダメだと思った。



- 人口減少と高齢者人口の増加は、勤労者(町内居住者)の減少につながり、税収減少に結びつきます。町営施設や福祉・介護施設については現状機能や建物維持に向けて、建て替えではなど修繕や耐震化対策によるコスト削減も必要と考えます。
- 役場庁舎の改築に早急を実施し、複合施設機能を有した庁舎を求む。白老駅から役場までの区間を賑わいを創出出来る商業施設を希望する(例 登別市の幌別地区の「アーニス」→商業施設)。
- ウポポイより、道の駅を作って欲しい。白老には売れる物が沢山あるのもったいないです。やはり、観光施設はリピーターが大事だと思うので、ウポポイにリピーターが来るとは思えません。港も釣り人から少しでも料金をもらう等にして、人を呼んだらいい。今はいろんな港が釣り禁止になっているので逆に釣り人を呼びこんでみてもいいと思う。死にかけの町だと思うので生き残ってほしい。やっぱり、道の駅を作って、人を呼んだ方が町のためになると思うよ。
- 白老町は、山の景観、海の両面に恵まれている。細長い地で今、道の駅どうしても自動車移動または国道 36 号線で白老町の特産物等の道の駅を、と思います。ウポポイの集客の流れを興味をそそるような道の駅をぜひ設置してはと。ちょっと遊び心を子供たちも喜びそうな施設を隣接でもと思います。どうもありがとうございました。頑張って楽しい白老町!!皆さんが行きたくなる町にです。
- 新千歳空港から車で1時間の夏の避暑地(冷涼な気候、釧路まで行かずとも)。しかも温泉付の住宅が日本一安く購入できる。土地も広く家庭菜園もし放題。しかも食の宝庫、白老牛はもちろん、たらこ、海産物、マザーズの卵、椎茸(BBQ、すき焼き、手巻き寿司)、レストランに行かずとも、食卓でごちそうが食べられる。しかも今はやりのアイヌ文化のウポポイがオープンした持続可能な社会を目指すためのヒントを多く手に入れてくれる。しかも馬のブランド「社台ファーム」がある。町の一角は馬でのみ移動可とするのも面白い。ウポポイ→貸別荘宿泊→移住体験(シニア)→ロコミで子育て世帯→キャンプ→BBQ+温泉にはまる→移住(温泉付き中古物件)
- 今後、公共施設を集めて行く方向が良いと思いますが具体的に町立病院の裏手の方に使われていない立派な建物があります。(SPA?)この建物を町立病院、町役場等で使用出来れば?コスト的な面もありますが使用されていない建物を有効活用もあり、良いのではないかと思います。
- 何でも便利になるのは良いですが税収を考えながら無理のない程度にしたら良いと思います。税金が上がるのは生活上大変です!
- 交流促進バスについて、ごく稀ですが、交通ルールを守らないドライバーがいます。せっかくの取組なのに町民が悪い印象を持つてしまうのは残念です。ドライバーの皆様におかれましては、車体に看板を背負っていることを忘れず、常にみられていると思って、法令遵守・安全運転をお願い致します。
- ウポポイ関連の施設などはどんどん整備されているように思いますが町民が日頃利用する施設などは、なかなか整備されない(古いまま)ように思います。「多文化共生社会を実現するまち」は重要だと思いますが、まずは町民の生活を考えた事業などを優先してやっていただきたいと思います。
- 町が保有する白老小の跡地等民間に売却し、住み良い町づくりをして居住者を多くしていくと同時に働く場所を誘致し子育てできる町にすることが大切です。そのころは私たちはもういないですが町長はじめ、町議の方々々に期待して1票を投票しました。町民1人1人のために生活のため、生きていくため、今後の白老町のために生きた町づくりを作ってください。

- このアンケート調査の結果はどう公表するのか、又、マスタープランの見積とこの町民意見について調査アンケートをどう町づくりに反映させ、又、取り入れるのか、単なる見せかけに終わらせることになっては意味がないので町民との一体的計画を策定に参加必要。
- 有り過ぎて答えられません
- 白老町には立派な漁港がありますが、今後、何に利用するのですか。災害用のデータセンターを誘致したらどうですか。海底通信ケーブルの引き込みは白老港は安心安全だと思います(漁港使用度が苫小牧より少ないので…)「冬は雪が少ないので…毎年思うことがあります、ここ白老に飛行場があったらなあ…」。データセンターが出来たら雇用が生まれ、IT 関連産業も増えて、人口増につながりますね、苫小牧に負けるな！！
- 大学、各種学校があり、学生が多く、活気ある町づくり。生産活動が活発でアルバイトが活用され、障害者、高齢者、学生が生活しやすい町となると、良いと思います。
- だれが考えたのかわからないが白老がもっと人口も増えてよくなっていくためには、仕事が無いので人が定住しないのが1番です。仕事をつくれ、そしたら人も増える。
- 苫小牧市か登別市と合併すればよいと思います。
- 道の駅が無い町、ぜひ、つくってほしいです。できれば、縄文文化と伊達藩陣屋の情報を拡散してほしい。ウポポイと連続した歴史を正しく、ウポポイの施設で展開してほしい。
- 医療介護の充実はもちろんですが、他市になるべく買い物に出かけなくても良いお店等魅力のあるまちづくりをしてほしい。町内中心部の店も開店しているのか閉店しているのか分かりづらい。何がおいてあるのか気軽にお店の中に入りたいが入りづらい。もう少し開放的な間口にしてほしい。せっかくウポポイが出来たのに通り道に食事する所が少ないので寂しい気がする。一日も早く、道の駅が出来て飲食もその中で出来ると良いと思う。
- 地域活動(自治会)総会などで意見申出をしても取り入れてもらえないのが現状。衰退は10年前から始まっている。総会で質問しても回答してもらえない、何故なのか、理解できない。町の発展は地域の活性化からと考えるがどうでしょうか？
- 問 4-2 に記載しましたが毎年1~2回しか動いていない除雪車が庭の囲いを破壊します。高齢者が残雪を処理することなど考えて運転技術を上げて使っていない土地を雪処理場に借りたりうまく処理してほしいです。
- 問 3-2 で私は①を選びましたが私の住んでいる場所は駅の北側で工場の音がうるさく(地響き)、朝 7:30 になるとものすごい音が1日中続きます。身の具合が悪い時など寝てられません。これが悩みです。
- 国道沿いのソーラーパネルの設置は反射光が目に入り、事故を起こす危険があるため、避けてほしい。町で規制することは出来ないものか。
- JR 白老駅の上の改札を常にあけてほしい。定期があれば自動改札を通れるようにすれば良いと思う。
- どれもこれも勝手にせー
- 他市に買い物に行かなくても良い様に白老町内にも総合的なお店が出来ることを希望する。
- 芝生の上で運動が出来るエリア(健康管理等)

- 未だに苫小牧～室蘭間に道の駅が無く36号線をひた走る車ばかりで、中間点の白老にも道の駅があると、町内外からの観光客やドライバー、白老町民のためにも是非、実現してほしい願いです。
- 町民が住みやすい(安心して)住み続けたいと思える様な町にしてほしい。生活するうえで自家用車での移動が多いですがニュースでも高齢の方の事故も多いのでどうなるのか少し心配です。
- 水道料金が高いので下げてほしいです。
- 豊富な観光資源があるのだから道の駅を作らないのはもったいないと思います。
- ①.2014年発行の『地方消滅』(増田寛也編著)では、2040年の白老町の推計人口は9,855人であるが、このアンケートの資料によるその5年後の社人研の2018年の調査結果では人口推計で9,180人とあり、2045年には7,770人と後になるほどデータ上で人口減少のスピードが速まっていることがわかる。②.一時期の夕張市における集合型コンパクトシティ計画は参考の一助になるが、現在の夕張市は何よりもまず人口が下止まりも見られず衰退が続いている。③.これからの白老町のまちづくりは、この実態を構想の起点として縮小してゆく地域で人びとがどのように暮らすべきかを描出する以外にないと思う。④.観光やグルメ等外部の人びとの注目を誘う一時的な方策では失敗例が多く、そもそもそこに暮らす住民の精神的な支えとなる政策が必要ではないか。⑤.きれいな水や空気があり、美しい景観が広がり四季折々の風景が楽しめて、上下水道のインフラが整備されていて、小さな診療所と小さな保育園や学校があり、郵便局や交番が置かれ、小さな企業がいくつか動いていて、知性を生かした農漁業が営まれている静かな田舎町を目指すべきではないか。
- 冬期の除雪(特に裏道等)を国道と同じくらいはやってほしいです。
- 働く場所の確保(企業誘致等)を推進して人口増を図るべきと思う。
- 安全で快適な住環境のお願いです。長年住んでおりますが、下水道の完備がなされず、生活排水がむき出し状態です。側面の崩れも目立ってきております。役場の方も見に来られましたが今後の見通しも立たずまいに終わりました。せめてU字溝でも入れて頂きたかったです。こういったところが何件もあります。今後少しでも改善して頂きますようよろしくお願いします。
- ①ポロトの中に牛、馬、鹿、ウサギ等自然らしさをつくれたら町とは違う白老らしさが出ると思うがどうか。牛は牛乳、アイス等販売、馬は乗馬体験、鹿はせんべいを与える(せんべいを買って頂く。ウトナイ湖の鳥のように与える)、ウサギは脱臭用。ネコブームで慣れたネコがいれば面白いかも、子供が遊ぶ。②空き家のチェックをして頂きたい。10年以上留守になって庭の草、木、電線等大丈夫かと思うところがあります。
- せっかく白老町に住む事になったのに現状、地域の方に参加出来ていません。残念に思います。
- どの世代の人たちも住みやすい環境を整える事が大切だと思います。少子高齢化が進んでいるにも関わらず高齢者は移動が大変そうなのに、交通の便がとても不便。子供がほしい世代への支援があれば、今すぐにも育てていきたいのにな...とは思う。ウポポイができて町が活性化しているのはいいと思うがそれに負けたくないくらいの何かがあればもっと町はにぎわうと思う(白老牛、タラコ以外に)。車を運転していてご高齢の方が突然飛び出してくることがあるのでヒヤッとします。
- 商店街の所に駐車場がないので行きたくても行けず、苫小牧に出る事が多い。駐車場があると良いと思う。

- ウポポイが出来たのに活用する気が無いのか施策がチグハグな気がする。(他のポストはアイヌを意識してつくるのにウポポイの前のポストがオレンジのまま等)気がついてないのかどうでもいいのか。国の施設なのでどのような制限があるのかわからないが道の駅併設(おそらく全国的にもまだ無いのでは?)星野リゾートさんが建設中のホテルが利用できれば集約につながるのでは?
- 観光とレジャー施設のある大型道の駅、高速萩野PAから新白老道の駅と国道36号線を結ぶ大型道の駅(案)
  - 1.白老道の駅(1)姉妹都市 ケネル市(カナダ物産店…食堂)、(2)つがる市(青森、東北物産店)、(3)道内観光物産店と食堂(数年ごとに交代)、(4)大昭和と日本製紙展示場、販売、静岡県物産店、(5)白老産魚、白老牛、卵、しいたけ、菓子パン、その他、(6)電気自動車の充電設備、(7)釣堀、(8)見晴台避難場所建物(その中で白老牛と魚汁店)、(9)萩の里自然公園活用
  - 2.港の利用 (1)釣り船、観光船、海上自衛隊港としての活用、(2)ヘリコプター観光(樽前山、羊蹄山、洞爺湖、昭和新山、地球岬、港)、
  - 3.滑走路の活用(1)パラグライダー、ドローン訓練所、将来ドローン組立工場(会社に依頼して発展を希望する
  - 4.現在あるパークゴルフ場の発展を望む
  - 5.その他総合病院、防衛省に依頼して白老町の発展を協力してもらおう。温泉付にして入院中は静かに楽しめるようにする、町民温泉場
- 津波等に対する対策を強化して頂きたい。
- 現状、高齢者への対応や子育て世帯への支援が大きく、それはそれで大切だと思うが、子育てを終えた世帯や独身者にとっては税等の負担が大きく何の援助もないため、そういう意味での住みづらさを感じてきている。
- 冬の運動不足解消に地熱を利用した芝生ロードがあれば良いね。外を歩けるのが一番です。
- 町内に病院が少ないので安心して住むためには健康が一番です。患者の心に寄り添うそんな先生が増えるのを心から望んでいます。
- とりあえず、コロナ収束して欲しい限りです。
- 道々に桜を植える事、ナナカマドは全部切り捨てる